



中生連盟常任委員会から



2月15日(金)に鹿児島市中学校生徒連盟第3回常

任委員会を本校で開催しました。既にご存じの通り、本校は30年度、本市中学校40校からなる生徒連盟の事務局校として活動してきました。その中でも常任委員会は総会に次ぐ大きな会合で、今回も各学校から代表者が3人、計120人が本校体育館へ集まり、中生連活動の在り方について参加者全員で協議【写真上】を行いました。



常任委員会前半では、本年度の活動についての報告と次年度へ向けた活動計画案の協議を行いました。その議長団の大役を、本校の小溝勇人君と原雪乃さん【写真左】が立派に務

めてくれました。後半では「あいさつを活性化するにはどうすればよいか」をテーマに、5ブロック、

7～9校毎に分かれて学校間での意見交換【写真右】を行いました。その場面でも、他校の執行部役員と共に前生徒会役員の疋田雄誠君、徳重凱偉君



が出席者全員に呼びかけて、実りある意見交換になるようにリードしてくれました。また、本常任委員会全体を通じて、本校の酒匂春奈さんが書記を務めてくれました。

さて、まだ第3ブロックへの引継ぎが残ってはおりますが、この常任委員会をもちまして、本年度の中生連の大きな行事は終了致しました。この1年間、生徒会役員を中心として生徒たちは本当に

頑張ってくれました。自校の生徒会活動もあったことから、大変忙しい1年になったのではないのでしょうか。それでも生徒たちはいつも前向きで、市内全体の生徒会活動が活発となり学校間の連携が図れるようにと努力してくれました。役員の皆さんはこの中生連活動を通じて培ったリーダー性を、高校や次の学年へ進んでも活かして、ますます自分を磨いてほしいと願っています。生徒たちに心から拍手を送りたいと思います。お疲れ様でした。

おもてなしを学ぶ

～ 2年生マナー教室から ～



2月27日(水)の5・6校時に、2年生を対象とした「マナー教室」を開催しました。

この学習は当該学年が3年生の1学期に予定している職場体験学習に備えて、基本的なあいさつや言葉遣いなど、対人関係のマナーを身に付けるために実施したものです。今回は講師として、鹿児島城西高等学校からホテル観光科長の有馬誠義先生にお越しいただきました。有馬先生は指宿市のご出身で、帝国ホテルやホテル京セラ等でのご経験があり、ホテルマンとしての豊富な接客マナーを教えていただきました。高校入試で役立つ面接時の立ち居振る舞い方、おじぎの仕方、「おはようございます」や「いらっしゃいませ」など職場体験学習8大用語の唱和等々、日常生活で直ぐに役立つマナーの基本を学ぶことができました。【写真上】は、有馬先生がオレンジの皮むきの技を生徒たちに披露しているところです。2年生全員が見つめる中で、ときにはユーモアを交えながら、しっかりとした技術を見せていただきました。同先生は講話のまとめとして、①その人にしかできない技術がある、②お客様から喜んでお金をいただける仕

事ができる、③(人に)感謝の気持ちを持つことができる、という3点を「プロとはどういうことか」として語られました。最後は、講師へのお礼の言葉を横山旺永さんが述べて、楽しくためになったマナー教室は終了しました。次年度の職場体験学習での2年生の活躍が、今から楽しみです。

どんぐりころころ植樹祭

2月23日(土)に第18回となる「桜島どんぐりころころ植樹祭」が、桜島赤水の採石場跡地で開催されました。本校からも1・2年生で編成した27人の「伊敷台中学校緑の少年団」が、市内19の小中学校緑の少年団と共に参加しました。この行事の目的は、鹿児島島のシンボルである桜島を緑で覆い景観を保持し、併せて子どもたちが緑を育み、自然を大切にする心を培うことを主なねらいとして、これまで実施されてきたところです。この日のために、本校でも1年前から生徒会が中心となり苗を育ててきました。昨年は枯れてしまった苗木もありましたが、今年は元気に育って植樹の日を迎えることができ、大変嬉しく思いました。植樹祭前後の日は本格的な雨天でしたが、当日だけは晴天



となり計画通り植樹することができました。開会行事【写真左】で主催者から植栽方法の説明をしていただいた後、伊

敷台中に割り当てられた区画に一人2本を目安に、穴を掘って一つ一つ苗木を丁寧に植え付けていきました。【写真右】

あまり学校で土に触れあうことのない生徒にとっては、よい体験の機会となったのではないのでしょうか。また、他校の同世代の生徒と知り合う機会ともなったと思います。

今後とも、この行事の趣旨を生かし、緑の環境や郷土鹿児島を大切にする大人へ育ててほしいと思っています。参加した生徒の皆さん!大変ご苦勞様、そして、ありがとうございました。



第3回学校評議委員会から

本年度も毎学期1回開催してきました学校評議委員会が、2月4日(月)の第3回目を持ちまして終了いたしました。今回も委員の皆様には、校長、教頭による学校経営の概要や、学年主任による各学年の教育活動についての説明をお聞きいただいた後、校内の授業参観をしていただきました。その後、校長室へ再度帰ってきていただき、1年間の教育活動全般に渡ってのご意見を賜りました。

主なご意見として、学校の理念が、縦割り作業のNHKでの放映でよく分った。生徒が素直で、あいさつも作ったものではなく、心から自然に出来ていると感じた。学校の施設や緑化等、環境は素晴らしい。本年度は、インフルエンザの罹患者が少なくて良かった。生活指導面での小学校との連携を強める必要がある。等々、多方面から学校経営の状況評価や、改善点についてのご示唆を与えていただきました。賜りましたご意見を今後の教育活動へ生かしていきたいと思えます。評議委員の皆様には、一年間、誠にありがとうございました。



【左は最後の写真記念です。】

平成30年度教育活動への御礼

校長 徳重 清純

3月1日に第4回PTA運営委員会を実施しました。PTA活動の本年度の反省と、次年度へ向けた改善点の話合いでした。PTA活動も新体制への移行で慌ただしい時期となりました。平成30年度が終わろうとしています。公立高校の入試が終わると3月13日が卒業式、14日が公立高校合格発表、25日が修了式と続きます。今一番願うことは、3年生一人一人が、希望する進路の実現ができますようにということです。卒業はいつかやって来ますが、それまでにどれだけ力を生徒へ付けることができたかどうか、学校、教師として自問自答する日々です。

最後になりました。これまで本校教育活動に賜りました御理解と御協力に、衷心よりお礼申し上げます。誠にありがとうございました。